

# 2022年度 ICCAIA秋期ボード報告

国際航空宇宙工業会（ICCAIA）の秋期ボードが9月26日にカナダのモントリオールで開催され、（一社）日本航空宇宙工業会（SJAC）からは専務理事と小職が参加したので、その内容につき以下報告する。また、9月27日から10月7日まで開催された国際民間航空機関（ICAO）の第41回総会について、ICCAIAからの参加の概略をあわせて報告する。

秋期ボードの参加者は、議決権を有する、ASD（欧州－議長）、AIA（米国）、AIAC（カナダ）、AIAB（ブラジル）、SJACと、準メンバー（議決権無し）からはFEMIA（メキシコ）とAAIS（シンガポール）、加えてICCAIAのICAO駐在員が参加し、準メンバーのMAIA（マレーシア）は欠席であった。

1. 今回のボードでの議決事項は以下のとおりである。

- 前回定例ボード（2022/5/17 開催）の議事録及び本ボードのアジェンダ承認。
- By-Laws（規約）改定の承認。  
加盟メンバー拡大についての準備とUAI（ロシア）退会の際の手続き上の教訓を踏まえて、By-Laws（規約）の改定を行った。改定の主な点は、会員資格の停止（suspension）の創設、懲戒処分（disciplinary action）手続きの創設、オブザーバー資格の明示、仲裁（arbitration）適用規定の創設などである。
- 中国のCSAA（中国航空学会）からの加盟申請の承認。  
なお、この議決についてSJACは棄権（abstain）した。
- 予算案の承認。  
財務担当のAIAC（カナダ）から予算状況の報告が行われた後に、余剰金の一部をカナダ公債で運用し、赤字見通しの予算の一部改善を図ることとした。引続き赤字見通しのため、エスカレーションに見合う会費

の増額についても協議されたが、今回はエスカレーションの適用を見送り、次回ボードで再び協議することとした。なお、ICCAIAの会計年度は9/1から8/31までの1年間である。

2. 事務局からの報告事項は以下のとおりである。

- ICAO駐在からの2021年～2022年の活動報告。  
ICAOの各種委員会への参加やロビー活動、アジアプリーフィング等の地域別対応、ICCAIAのWEBページ更新を含むブランド（知名度）向上の取組、ロシア関連対応、By-Laws（規約）とCode of Conduct（行動規範）の改定、ICCAIAを国際組織と認定してもらうためのカナダ・ケベック州政府との交渉等が紹介された。
- ICAO駐在からの2022年～2023年の活動計画の報告。  
ICAOでのICCAIAのプレゼンスの向上や各種委員会への参加とロビー活動、各地域対応、加盟メンバーの増加の取組に加えて、ICAO駐在組織の将来構想として5名体制（現在は2.5名）の構想が示された。費用も相当かかるものであり、継続して協議を行っていくこととなった。
- ICCAIAを国際組織と認定してもらうためのカナダ・ケベック州政府との交渉に関連して、ケベック州政府の担当者より国際組

織として認定されるための条件（例えば5名の雇用条件）や補助制度についての概略説明が行われた。

- 2023年1月からはAIA（米国）がICCAIA議長となることを確認した。

### 3. その他特記事項は以下である。

#### (1) 国際民間航空機関（ICAO）日本政府代表部との面談

9月26日の午前、ICAO日本政府代表部を訪問し、福島功 特命全権大使と網谷直樹 一等書記官と面談した。面談では、ICCAIAのICAOでの活動、ICCAIAのメンバーシップの動向（ロシアの脱会、中国の加盟申請）、第41回ICAO総会等について説明や情報交換を行った。

#### (2) ICCAIA設立50周年記念レセプション

ボード開催日（9/26）の夜に、ICAO総会へ参加する各国関係者を招待し、同レセプションを開催した。ICAO理事会議長（Salvatore Sciacchitano氏）や事務総長（Juan

Carlos Salazar氏）等のICAO幹部も参加され、オープニングではSalvatore Sciacchitano氏から祝辞をいただき、関係者との懇親を深めた。

### 4. ICCAIAの第41回ICAO総会への参加

第41回のICAO総会は、9月27日から10月7日まで開催され、2500人以上が約250の国や団体から参加し、ICCAIAからはICAO駐在をはじめとした45名が交代で2週間の会期の対応を行った。総会では、約580のWorking Paperのレビューのほか、代表団からのスピーチや理事会メンバーの選挙が行われた。

ICCAIAからは、12のWorking Paper（W/P、討議あり）と3つのInformation Paper（I/P、討議なし）を提出し、12のW/PにおけるICCAIAの主張はすべて承認された。ICCAIA提出のW/P等の概略は以下の一覧表を、W/P等の原文はICCAIAのホームページ（<https://iccaia.org/2022/10/41st-icao-assembly-concludes-with-positive-outcomes-for-iccaia-and-its-members/>）を参照されたい。

登録番号 (総会アジェンダ番号)	名称	概要
WP/112 (#23)	Polymaking and Processes for Innovation	イノベーションに対応する柔軟なICAO標準やリコメンデーションの作成についての提案
WP/111 (#23)	Phased Approach for SARPs Applicability	ICAO標準実施のステップとチェックポイントについての提案
WP/167 (#17)	Carbon Reduction Technology - Regulatory Framework Development to Facilitate Aeroplane and Engine Technology Developments for Carbon Reduction	CAEPのLTAGの取組で示された技術ロードマップの支持と、そのロードマップのICAO標準作成の基礎資料の一つとすることの提案
WP/082 (#13)	An Integrated Approach to Health, Facilitation and Crisis Response	COVID19への対応を教訓とし、航空輸送システムが予見可能かつ速やかな対応を行う枠組みの提案

登録番号 (総会アジェンダ番号)	名称	概要
WP/110 (#23)	Legal and Societal Stakes for the Emerging Air Mobility in Metropolitan Areas	無人機とアーバンエアモビリティ（空飛ぶクルマ等）の共存のため、空域の法的枠組みを現代化する戦略立案と対応策策定についての提案
WP/127 (#31)	Wake Energy Retrieval (Automated Formation Flight)	燃料消費を削減するための巡航中の運用（Wake Energy Operation）の進展と必要な規定に対処するための戦略の提案
WP/087 (#30)	The Next Era of Air Traffic and Airspace Management	次世代の空域利用に関するアクションプランの提案
WP/096 (#31)	Aircraft Halon Replacement	民間貨物機の消火用ハロン使用を制限するICAO提案（2024年）の支持
WP/091 (#31)	Certification and operation of firefighting aircraft	消防用途の航空機について、ICAOによる耐空性と運用についての国際的な基準作成の提案
WP/084 (#31)	A Roadmap for Integrated CNS and Spectrum ICNSS	航空用途以外での電波利用需要増加のため、航空通信システム等のパラダイムシフトにより飛行安全確保を行う取組（タスクフォース）への支持
WP/099 (#31)	Extended Minimum Crew Operations	自動運転やデジタル技術の進展に対応するロボストシステムの開発を支えるICAO標準の必要性の提案
WP/094 (#30)	Aviation Safety For Regional Operations	リージョナル航空輸送の飛行安全向上についての提案
WP/320 (I/P, #31)	Formation flight : Impact analysis and annexes documentation update	フォーメーションフライトの実証試験（トライアル）等の情報提供
WP/269 (I/P, #33)	Optimisation of the overall Lifecycle of pavement for mastering aircraft operations, cost efficiency and GHG footprint	安全かつ耐久性のあるオペレーションの最適化についての情報提供
WP/439 (I/P, 17)	Climate Action from Manufacturing Industry in Support of Industry Decarbonization	2050年までのカーボンNet-Zeroに向けての航空産業分野での貢献についての情報提供

## 5. 所感

今回はICAO総会にあわせてICCAIAボード会議が開催されたので、ICCAIAの幹部だけでなく、ICAO総会のために現地入りしていたICCAIA技術部門幹部とも話す機会を多く得られた。世界のAviationは、環境課題への

対応を始めとして確実に動き出していることを実感した。私としては、引続き様々な情報を収集し、各位との情報共有をおこない、産業界の継続的な発展の一助になればと、常々考えている。引続き、ご教示やご支援のほど、よろしくお願いいたします。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 国際部部長 羽中田 実〕